

◇ 令和6年度 指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「渋川」			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	14,734,416円		16,630,205円	事業収益を保育や施設の安全維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしています。
施設HPアドレス	http://ayumi.hoikuen.to/nobikko_shibukawa/			2年目	16,838,276円		事業収益を保育や施設の安全維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしています。
指定管理者名	社会福祉法人良友会			3年目	17,246,795円		事業収益を保育や施設の安全維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしています。
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日			4年目	16,443,430円		事業収益を保育や施設の安全維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしています。
評価対象期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日			5年目	17,078,700円		事業収益を保育や施設の安全維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしています。

●総合評価の基準

5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目

公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成18年4月1日
施設の供用開始日	平成18年度
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	★★★★★	●市(施設所管課)の総合評価…	★★★★★
令和6年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
敷地内複合施設、近隣に小学校、法人運営のこども園があるという特色を活かし、体幹遊び等でまちづくりセンターの貸館、外遊びでは小学校運動場を利用し、夏にはこども園プールを利用する等、活動範囲を広げることに努める。保護者とのコミュニケーションを意識し、子どもの姿、成長を共有する。子どもたちが自主的に遊び、生活を進めていくよう全ての支援員が意識して、子どもたちの行動一つ一つを丁寧に見守り、かかわっていく。ICTシステムの「コドモン」を活用し、おたよりの配信や活動の配信を行なうながら子ども、保護者との信頼関係を築いていく。		概ね適正な管理運営ができている。人員配置、保育業務、学校・地域との連携、児童・保護者への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
夏季休業中にはロクハ公園での自然体験活動、バスを利用して長浜ヤンマーミュージアムと湖北野鳥センターへの遠足を実施する。こども園プールでの講師による危機回避の方法等の水泳指導の実施や吉本芸人を招いて、実際のプロの芸を見て感じる等、体験活動を実施した。また、滋賀県金融広報委員会主催による「おかねのね教室」、草津市長寿いきがい課の方による「認知症講座」を実施する。まちづくりセンター貸館(大会議室)を利用して、子ども達が自主性を大切に活動を進められるように子どもたちで企画して実施する。年間を通して、運動遊び(体幹・ビジョントレーニング)を実施。外遊びに出にくい環境の中、身体作りに繋がる活動にも取り組む。年間を通して工作中に取り組み、冬場は毛糸を使って人形やポシェット作りを楽しむなどの、季節に応じた活動を実施した。日々のお迎え時を中心に、保護者とのコミュニケーションも円滑に進める事が出来た。		(公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たしている。 (使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブではなく、利用料金制の導入は行っていない。	

◆施設に係る主な指定管理業務		◆評価基準
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務		仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務		仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
(2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務		仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務		仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
		仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等)(仕様書 P1,2)		
評価項目 1	指定管理者の自己評価	市(施設所管課)の評価
	上半期評価 ★★★★★	上半期評価 仕様書に定める基準を遵守しながら適正に運営された。児童全体を見渡すため、ゆとりある支援員配置に務められた。独自に救命講習やエビデンス実施し、支援員の質の向上を図られた。
	下半期評価 ★★★★★	下半期評価 市が開催する研修にも積極的に参加された。また、普段の保育の記録から安全な保育環境の見直しを自分で行うなど、支援員等の資質向上に努められた。

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等)(仕様書 P1,2)		
評価項目 2	指定管理者の自己評価	市(施設所管課)の評価
	上半期評価 ★★★★★	上半期評価 イベントについては、児童が主体的となって企画し、自主性や社会性を身につけるよう工夫し、時季に合ったイベントを実施された。また、個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。
	下半期評価 ★★★★★	下半期評価 イベントについては、児童が主体的となって企画し、自主性や社会性を身につけるよう工夫し、時季に合ったイベントを実施することにより、遊びや体験を通じて、児童が楽しめるよう保育を工夫された。

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等)(仕様書 P2,3)		
評価項目 3	指定管理者の自己評価	市(施設所管課)の評価
	上半期評価 ★★★★★	上半期評価 毎月のおたよりや送迎時に児童の普段の様子を伝えられた。個別懇談を実施し、保護者とのコミュニケーションを図られた。また、必要があれば小学校とも連携し、児童の様子や家庭状況をきちんと把握し、適切な対応に努められていた。
	下半期評価 ★★★★★☆	下半期評価 毎月のおたよりや送迎時に児童の普段の様子を伝えられた。個別懇談を実施し、保護者とのコミュニケーションを図られた。実施した保護者アンケートの内容を支援員間で共有し、その内容を保護者にきちんと還元することなど、保護者に寄り添った対応を心がけておられた。

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等)(仕様書 P3,4)		
評価項目 4	指定管理者の自己評価	市(施設所管課)の評価
	上半期評価 ★★★★★	上半期評価 安全対策として防犯・防災マニュアルを作成し、それにに基づいて毎月避難訓練を実施されているが、多い月では独自に訓練へ参加し、安全対策に努められた。玄関の常時施錠の体制をとり、安全な保育を保たれるよう努められた。
	下半期評価 ★★★★★	下半期評価 安全対策として防犯・防災マニュアルを作成し、それにに基づいて毎月避難訓練を実施されているが、多い月では独自に訓練へ参加し、安全対策に努められた。事故につながる危険な箇所や行動について、児童の安全意識の向上に努められた。